

～ 作文「2年生になって」3組 ～

二年生になって

2年3組

私は二年生になって、一年生の頃よりも、成長したなと思うことが増えました。入学したての頃は、背の高い先輩方に怖がっていたのに、今は一年生を見て、ジャージがぶかぶかでかわいいなと思えるようになりました。

今の一年生と比べると自分がどれくらい成長したかがはっきり分かります。準備が遅くて注意されていた給食準備も、今はあの時より早くなり、食事をゆっくりと出来るようになりました。また、不安しかなかったテストも、今では、不安な気持ちがありつつも、一年生の結果から目標ができて、頑張ろうと思えるようになりました。一年生の頃にできなかった委員会活動でも、自ら風紀委員に立候補して、風紀委員になれました。委員会活動は、一年生の頃からやりたいと思っていたので、とても嬉しいです。

この一年間で成長したことは沢山あると思うけれど、成長していない部分もたくさんあります。提出物の出し忘れや、時間管理です。テスト前の勉強も計画性がないと課題は沢山あります。一年後には受験もあるので、それに向けて頑張らないといけないことはもっとあります。これらの課題をすこしずつ達成して、先輩として後輩に慕われるようになりたいなと思いました。特に、来年度受験生として、勉強は頑張りたいと思っているから授業をしっかり聞きたいと思っています。

二年生になって…

2年3組

僕は二年生になって思ったことが一つあります。当然のことですが、知らない人が多いということです。

そこで、僕は次の目標を二年生でやろうと思いました。

それは、このクラスの多くの人と関わり、仲良くなるということです。クラスのみんなと仲良くなれば、毎日の学校生活が楽しくなるし、学級委員としても、クラスのことを良く知っておいたほうが良いかなと思うので、僕はこの一年間でこの目標を達成するために日々、生活していこうと思います。

そのために、今年度の最初にやった授業のテーマであった「あいさつ」をしていこうと思いました。この「あいさつ」がクラス中に広まれば、二年三組は「あいさつ」のできるクラスだと思われ印象が良くなるし、なにより、みんなが「あいさつ」をかけ合うことで、みんなの仲が良くなると思います。「あいさつ」が目標を達成するために、より良い策だと思いました。このことを心掛けて、頑張ろうと思います。

大冒険

GWにした大冒険の話をしてしよう。まずGW前半は雪山だ。立山連峰という標高3000m近い山々に総勢12名で登山に行った。雪上テント泊の2泊3日の行程だ。雪山の装備は、雪崩で埋もれてしまった時の為にビーコンという発信機をつける。また、雪で滑らないようにアイゼンという鉄でできた滑り止めを足につけ、ピッケルというつるはしのようなものを持ち、それを身体に結び付けておく。もうこの装備を身に着けるだけで冒険感が半端ない。みんなで一列になって雪の上を進んでいく。登山中には立山の絶景が360度広がり、国の特別天然記念物のライチョウもいたるところに走り回っている(鳴き声はかわいくないのだが笑)。テント場についたらテントを雪の上に張り、雪を掘ってテーブルを作り、みんなで大宴会だ。もうこれが楽しすぎる。そして夜は星空が一面に広がる。寒くさえなければ何時間でも見ていたいところだが、マイナス10度くらいなので早々に引き上げる。テント内でもマイナスの温度になる。これがまた「すごいことをやっているなあ」とたまらないし、やめられない。

そして、後半は奥秩父主脈縦走というさらなる大冒険に出た。山梨県からスタートし、3泊4日で奥多摩駅まで山の中をひたすら歩く行程だ。水は所々立ち寄る山小屋や湧水でゲットできるが、テント、寝袋、マット、ガスバーナー等の道具、さらには11食分の食料をすべて持って登らなければならない。これが実に重い！荷物を極限まで減らしてみたものの、水も含めると11kgを超えた。こんなものを背負って4日間歩けられるのか不安を抱きながらバスで登山口まで行き、いざスタート。この4日間は1日平均10時間歩く。初日は難なくこなし、といってもテントを張れたのが17時。急いで夕飯を食べ19時半に就寝。朝は3時起きだ。暗い中ヘッドライトをつけ、ごそごと朝食を食べたらテントをたたみ、荷物を積み、アイゼンをつける。GWといっても残雪がまだそこら中にあり、そのせいでペースが遅れ、2日目は13時間もかかった。3日目も12時間。ひたすら歩き続ける。山行の間は終始鳥のさえずりが聞こえ、太陽の暖かさを感じ、こんな環境に生えている植物の偉大さを感じた。そして尾根歩きでは常に偉大な富士山が見え、我々を見守ってくれているように感じた。そして最終日、下山しながら舗装されたアスファルトの道路がちらっと見えた瞬間、人類の偉大さも感じた笑。時間にして40時間、距離71.3km、のぼり5244m、くだり6418m(YMAPのログより)の大冒険だった。

ここまで大変な思いをしてまで、なぜ山に登るのか。私の答えはこの3つだ。

①努力しなければ見られない景色があるから②達成感・成功体験を獲られるから③自然の中に身を置いて不便さを感じられるから

①は登山だけではなくすべての事象に当てはまる。本気でやらなければ見えないものがあると思う。②はとにかく一歩一歩進んでさえいけばすごいところへたどりつけ、それが自分の自信にもつながる。スモールステップの積み重ね。これも登山以外でも当てはまる。③不便さを感じるからこそいつもの日常の便利さにありがたみを感じられ日常も好きになれる。

赤城で君達は地蔵岳に登る。山を歩きなれていない人にとっては、しんどいかもしれない。ただ、普段見られない景色、都心には生えていない植物、鳥のさえずりなど雄大な自然を感じながら、一歩一歩登ってみて欲しい。頂上でみられる景色、みんなで一緒に山に登ったといういつものとは違う体験、達成感、記憶に残るのではないかな。一緒に登れることをとても楽しみにしています。

住廣 郁子

## ～ 体育祭への道 ～

先週から体育祭に向けた準備、そして今週から体育祭の練習が本格的に始まりました。ダンスの練習ではとても楽しそうに取り組みました。また、全員リレーや学年種目の練習では、レースの内容や走順の確認をしていきました。今後、練習や休み時間などの時間で「いかにして勝つか」をクラスの中で話し合い、協力・工夫をしてみましょう。

ただ月曜日の練習を見て、残念ながらスタートダッシュはうまくいかなかった、と思っています。

全校練習では集合・整列に遅れ、注意事項や練習内容の話聞いていないかのような態度をとり、学年練習では計画的に動けず、学級対抗リレーのための朝練でも他学年を待たせてしまい、注意を受ける場面が見られました。本当に残念です。練習の中では全力で走ることもあります。そんな中で回りを見ずに行動したらどうなりますか？みんなで協力しなければいけない時に、おしゃべりをして何もしない人がいたらどうなりますか？よく考えてください。

一方で、真剣に練習し体育祭の準備を進めている仲間がいます。みんなが安全・安心に楽しく体育祭に臨めるよう、自分たちがどう動くべきか、ぜひ中堅学年として、昨年度の経験を活かしながら取り組んでもらいたいと思います。

### 全体練習



### 学年練習



### 体育祭準備



## ～ 赤城事前学習スタート ～

体育祭の合間をぬって、赤城移動教室に向けた事前学習がスタートしました。

赤城や群馬県のことについて調べ、自分たちのガイドブックを作っていきます。各自工夫を凝らして現在作成中です。金曜日には完成予定となっています。どんなガイドブックができるか、今から楽しみです。



### 【時間割】

	5/20 (月)			5/21 (火)			5/22 (水)			5/23 (木)			5/24 (金)			5/25 (土)		
	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組
1 先生	全校練習			学年練習			体育祭予行			体	国	理	社	数	美	体育祭当日 ★雨天時 普通授業 給食あり ★日曜実施時 弁当持参		
2 先生	理	技	家							国	社	体	社	理	国			
3 先生	住廣	安諸	宮坂	美	国	理				社	理	国	数	理	英			
4 先生	折原	宮坂	安諸	柿崎	折原	住廣				高橋	清水	折原	小西	住廣	関谷			
5 先生	宮坂	北村	小西	高橋	吉田	北村				安諸	住廣	清水	北村	柿崎	小西			
6 先生	小西	関谷	山田	住廣	高橋	山中				清水	関谷	高橋	体育祭前日準備					
備考				係会						学年練習								
				予行準備 体育祭朝練														

- ひとことへのコメントありがとうございます。一部掲載いたします。
- ・ダンスとリレーの練習を日々しています。家の中はどたどたにぎやかですが、本番に力を出し切れるよう頑張って練習を続けてほしいと思って、見守っています。
- ・今年は慕っている部活の先輩方がダンス担当の一員ということもあり、昨年より練習に気合が入っているように感じます。
- ・進級して1ヶ月がたち、新しい友達ができたと嬉しそうに話をしてくれます。私も新しいクラスの友達の名前をたくさん覚えたいです。